

令和6年9月2日

小学校6年生児童の保護者の皆様

苫小牧市立豊川小学校長 丹野 靖彦

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

新秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月18日（木）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年7月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも8月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち児童が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から児童への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

令和6年4月18日（木）

(2) 調査対象

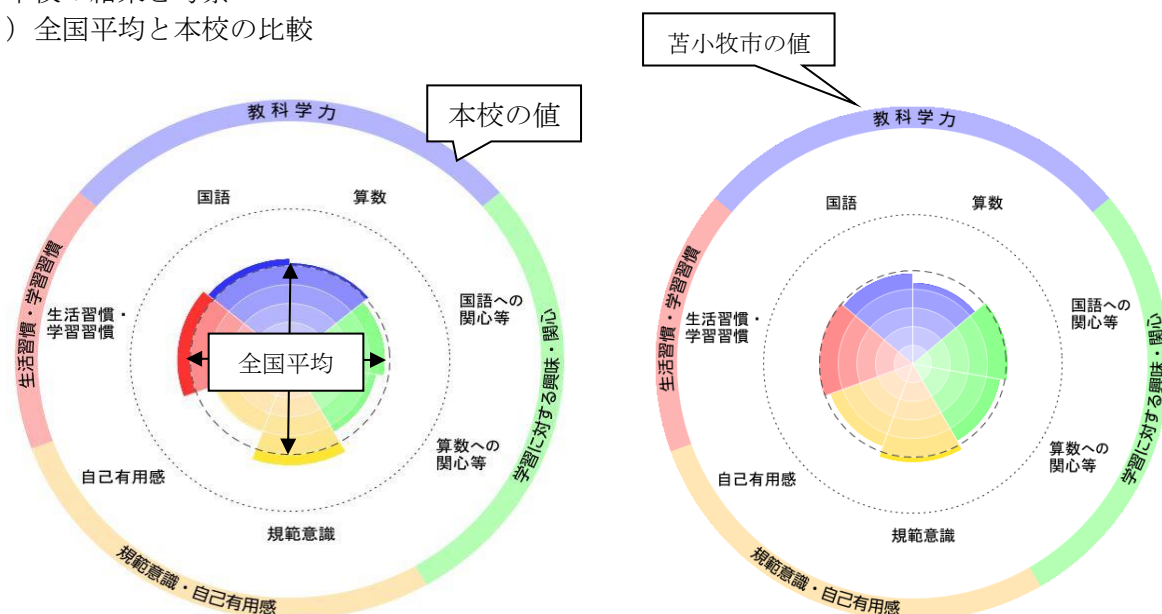
小学校第6学年（市内全小学校で実施）

(3) 調査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、算数の2教科が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する児童質問調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問調査が実施されました。

2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較



(2) 国語科

- ・国語においては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・国語の正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が薄く、上位層・下位層が厚い傾向が見られます。
- ・「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」において全国平均を上回っている。「C 読むこと」も全国平均と同等でした。
- ・「漢字を文中で正しく使う」「話し言葉と書き言葉を区別する」「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする」「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する」設問において、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する」「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える」設問において、全国平均を下回っています。

(3) 算数科

- ・算数においては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・算数の正答数の分布では、全国平均に比べ、上位層が少なく、中位層・下位層が厚い傾向が見られます。
- ・「A 数と計算」、「C 変化と関係」において全校平均を下回ったものの、「B 図形」、「D データの活用」については全国平均を上回っています。
- ・「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する」「二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する」設問において、全国平均を上回っています。
- ・「除数が小数である場合の除法の計算をする」「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する」設問において、全国平均を下回っています。

(4) 児童質問調査

学校生活

- ・「授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用していますか」「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）」の質問では、いずれも活用状況が全国平均を上回っています。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問では、肯定的回答が全国平均を上回っています。
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の質問では、肯定的回答が全国平均を上回っています。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていてと思いますか。」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」の質問では、肯定的回答が全国平均を下回っています。

家庭生活

- ・テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）や動画視聴に費やす時間が、いずれも全国平均を大きく上回っています。
- ・ゲームやスマホの使い方について「家の人との約束がない」と回答した児童が全国平均を大きく上回っています。
- ・「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問では、「1時間以上」と回答した割合が全国平均を上回っています。

3 学校の今後の取組について

- ◎国語科中心の取組～①物語や説明文の読み取りの指導 ②言語事項の指導の重点化
- ◎算数科中心の取組～①四則演算等の基礎基本の定着 ②割合や文章題の題意を読み取るための視覚化の工夫
- ◎各教科における取組～①学習方法や内容の自己選択や決定（発達段階に応じた自由進度学習の推進） ②理由や資料など根拠（本文の記述）をもとに考えをまとめる指導